

居宅訪問型保育事業者立入調査に係る自主点検表
(個人用 (複数の保育に従事する者を雇用していないもの))

事業所名：

作成者名：

電話番号：

指導基準	調査事項	調査内容	自己チェック		指導監督基準を「満たしていない」と判断する基準	調査時に確認する主な資料(案)
			満たす	満たさない		
1 保育に従事する者の数及び資格	【保育に従事する者の数】 原則、保育に従事する者1人に対して乳幼児1人 ≪例外的考え方≫ ・乳幼児が、その兄弟姉妹と一緒に利用しているなどの場合であつて、かつ、保護者が契約において、複数名での保育を同意しているときは、保育に従事する者1人に対して乳幼児1人以上を保育することができる。	保育に従事する者が1人で複数の乳幼児を同時に保育していませんか。	☐	☐	1人で同時に複数の乳幼児を保育している。	【乳幼児数】 ・利用契約書
	【保育に従事する者の有資格者の数】 ≪有資格者の考え方≫ 有資格者は、保育士又は看護師(准看護師を含む。以下同じ。)の資格を有する者をいう。	保育に従事する者は、有資格者、又は都道府県知事・指定都市市長・中核市市長(以下「都道府県知事等」という。)が行う保育に従事する者に関する研修(都道府県知事がこれと同等以上のものと認める市町村、その他の機関が行う研修を含む。)を修了した者ですか。 ※研修 「対象研修」参照(最終頁に掲載)	☐	☐	有資格者又は都道府県知事等が行う保育に従事する者に関する研修を修了した者が配置されていない。 ≪採用後1年以内の職員≫ 採用した日から1年を超えていない者については、立入調査時点で研修を修了していない場合であっても、採用後1年以内の研修修了を予定していれば、基準を満たしていると判断します。	・保育士証等の資格証の写し
	【保育士の名称】	保育士でない者を保育士又は保母、保父等これに紛らわしい名称で使用していませんか。 <u>「国家戦略特別区域限定保育士の資格を有している場合」</u> その業務に関して国家戦略特別区域限定保育士の名称を表示するときに、その資格を得た事業実施区域を明示し、当該事業実施区域以外の区域を表示していませんか。	☐	☐	紛らわしい名称で使用が認められる。 調査内容の事項に違反がある。	・保育士証等の資格証の写し ・利用案内
2 保育室等の設備、構造及び面積	【事業の運営を行う事業所の専用区画及び備品等についての協力依頼】 ≪事業所の考え方≫ 事業の運営を行う事業所とは、乳幼児の居宅ではなく、業務を行う事業者の事務所をいう。	事業の運営を行うために必要な広さを有する専用の区画を設けていますか。	☐	☐	必要な広さを有する専用の区画を設けていない。	
		保育の実施に必要な備品等(玩具、救急用品等の子どもの健康や安全管理に関わるもの)を備えるよう保護者に協力を求めていますか。	☐	☐	必要な備品等の用意について保護者に協力を求めている。	・協力を求める書類(利用契約書など)
3 4 非常災害を2階以上の条件に設置 /	【防災上の必要な措置の実施】	火災、地震等の災害発生時における対処方法等(避難経路や消火用具等の場所の確認等を含む。)の防災上の必要な措置が講じられていますか。	☐	☐	防災上の措置について検討及び実施をしていない。	★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。

[illegible]

指導基準	調査事項	調査内容	自己チェック		指導監督基準を「満たしていない」と判断する基準	調査時に確認する主な資料（案）
			指導監督基準を満たす	指導監督基準を満たさない		
6 給食	【衛生管理の状況】 食器等の適切な衛生管理 ※食事の提供を行う場合のみ	食器類やふきん、哺乳ビン等を使用する際は、衛生面等必要な注意を払い、配膳も衛生的に行っていますか。	☐	☐	衛生面等必要な注意が払われていない。	[食事の提供を行う場合のみ] ★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。
	【食事内容等の状況】 ※食事の提供を行う場合のみ	乳児にミルクを与えた場合に、ゲップをさせることや離乳食摂取後の乳児について食事後の状況に注意が払われているかなど乳児に対する適切な配慮を行っていますか。	☐	☐	乳児に対する配慮が適切に行われていない。	
		アレルギー疾患等を有する子どもについて、保護者と連携し、医師の判断及び指示に基づき、適切な対応を行っていますか。	☐	☐	アレルギー疾患等を有する子どもに対して適切な対応が行われていない。	
7 健康管理・安全確保	【乳幼児の健康状態の観察】 預かり、引渡しの際、乳幼児一人一人の健康状態の観察	預かりの際、健康状態の観察及び、保護者からの乳幼児の報告を受けていますか。	☐	☐	十分な観察が行われていない。	・連絡帳など保護者とのやり取りを記録した書類
		《報告の内容》 体温、排便、食事、睡眠、表情、皮膚の異常の有無、機嫌等	☐	☐	保護者からの報告（連絡帳を活用することを含む。）を受けていない。	
		引渡しの際、預かり時と同様の健康状態の観察を行っていますか。	☐	☐	十分な観察が行われていない。	
		また、保護者への乳幼児の状態を報告していますか。 ※報告の内容は上欄と同様	☐	☐	注意が必要な場合に保護者等に報告していない。	
	【職員の健康診断】	職員の健康診断を労働安全衛生法に基づく労働安全衛生規則に基づき採用時及び1年に1回実施していますか。	☐	☐	受けていない。	・健康診断書 ・（食事の提供を行う場合）検便の結果を記録した書類
		食事の提供を行う場合には、提供頻度やその内容等の実情に応じ、検便を実施していますか。	☐	☐	実施されていない。	
	【感染症への対応】	手指の衛生や咳エチケットの実施等の感染予防のための対策が行われていますか。	☐	☐	感染予防策を講じていない。	★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。
	【乳幼児突然死症候群に対する注意】	乳幼児突然死症候群に対する注意として、下記①～③を行っていますか。 ① 睡眠中の乳幼児の顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察しているか。 ② 乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせているか。 ③ 保育中は禁煙を厳守しているか。 ※ 窒息リスク除去の観点から、医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、乳児の顔が見える仰向けに寝かせることが重要であることから、うつぶせ寝を行う場合は利用時に保護者に確認するなど、乳幼児突然死症候群に対する注意に努めること。	☐	☐	左記①～③の事項を実施していない。	★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。

指導基準	調査事項	調査内容	自己チェック		指導監督基準を「満たしていない」と判断する基準	調査時に確認する 主な資料(案)
			指導監督基準を満たす	満たさない		
7 健康管理・安全確保	【安全確保】	施設の設備の安全点検、職員、児童等に対する施設外での活動、取組等を含めた施設での生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他施設における安全に関する事項についての計画（以下「安全計画」という。）を策定していますか。また、当該安全計画に従い、児童の安全確保に配慮した保育を実施していますか。	☐	☐	安全計画が策定されていない。	★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。
		安全計画について理解しているとともに、安全計画に定める訓練を定期的実施していますか。	☐	☐	安全計画に定める研修が定期的実施されていない。	
		保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知していますか。	☐	☐	安全計画に定める研修が定期的実施されていない。	
		以下①～③の安全確保に配慮した保育を実施していますか。 ① 事故防止の観点から、危険な場所等に対して適切な安全管理が図られているか。 ② 不審者の立入防止などの対策や緊急時における児童の安全を確保する体制が整備されているか。 ③ 児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を運行するときは、児童の乗車及び降車の際に、点呼その他の児童の所在を確実に把握することができる方法により、児童の所在が確認されているか。	☐	☐	以下の事項について理解していない、又は、理解はしているが配慮した保育を実施していない。 ① 安全計画に基づく取組の内容等を踏まえた事故防止、防犯、安全最優先等シッターとしての心構え ② 保育を始める前の玩具、遊具等室内の安全確認 ③ 室内、室外（散歩等の移動経路など）の安全確認 ④ ケガや急病等における応急手当の方法（実践） ⑤ 「ヒヤリ、ハット」時の事故防止意識の再確認等 ⑥ 児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を運行する場合の、児童の乗車及び降車の際の児童の所在の確認方法 ⑦ 事故発生時における対処方法及び連絡体制 ⑧ 事故等発生後における詳細な内容等の報告	★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。

指導基準	調査事項	調査内容	自己チェック		指導監督基準を「満たしていない」と判断する基準	調査時に確認する 主な資料（案）
			指導監督基準を満たす	満たさない		
		事故発生時に適切な救命処置が可能となるよう、実技講習を定期的に受講していますか。	☐	☐	定期的に講習を受講していない。	★別紙チェックシートを作成してください。 チェックシートを基に確認します。
		賠償責任保険に加入するなど、保育中の万が一の事故に備えていますか。	☐	☐	賠償すべき事故が発生した場合に、損害賠償を速やかに行うことができるよう備えられていない。	・損害賠償保険の加入を証明する書類
		事故発生時には速やかに当該事実を保健福祉（環境）事務所社会福祉課に報告していますか。 ※報告様式 福岡県の「届出保育施設等に対する指導監督要綱」様式第6号を使用すること。	☐	☐	報告していない。	
		事故の状況及び事故に際して採った処置について記録していますか。	☐	☐	事故が発生した施設において、当該事故の状況及び当該事故に際して採った処置について記録していない。	
		死亡事故等の重大事故が発生した施設については、当該事故と同様の事故の再発防止策及び事故後の検証結果を踏まえた措置をとっていますか。	☐	☐	死亡事故等の重大事故が発生した施設において、当該事故と同様の事故の再発防止策及び事故後の検証結果を踏まえた措置がとられていない。	

指導基準	調査事項	調査内容	自己チェック		指導監督基準を「満たしていない」と判断する基準	調査時に確認する主な資料（案）
			指導監督基準を満たす	満たさない		
8 利用者への情報提供	【施設及びサービスに関する内容の提示】	以下の事項について、書面等による提示等がされていますか。	☐	☐	全く提示等されていない。	
		① 設置者の氏名又は名称及び事業所の管理者の氏名	☐	☐	左記①～⑭の事項について、次のいずれかに該当する。 ・提示内容が不十分 ・提示等の仕方が不十分 ・提示する事項が不足	
		② 事業所の名称及び所在地				
		③ 事業を開始した年月日				
	【サービス利用者に対する契約内容の書面等による交付】	④ 保育提供可能時間	☐	☐	「ここdeサーチ」に情報が全く掲載されていない。	・利用者に提示等するサービスの内容に関する書類
		⑤ 提供するサービスの内容及び当該サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項並びにこれらの事項に変更を生じたことがある場合にあっては当該変更のうち直近のものの内容及びその理由	☐	☐	「ここdeサーチ」に①～⑭の事項について、次のいずれかに該当する。 ・掲載内容が不十分 ・掲載する事項が不足	
		⑥ 利用定員				
		⑦ 設置者の資格（保育士・看護師）の保有状況				
		⑧ 設置者の研修の受講状況				
		⑨ 保育する乳幼児に関して契約している保険の種類、保険事故及び保険金額				
	【サービスの利用予定者から申し込みがあった場合の契約内容等の説明】	⑩ <u>（提携している場合は）</u> 提携している医療機関の名称、所在地及び提携内容	☐	☐	「ここdeサーチ」に①～⑭の事項について、次のいずれかに該当する。 ・掲載内容が不十分 ・掲載する事項が不足	・利用者に交付する契約に関する書類
		⑪ 緊急時等における対応方法				
		⑫ 非常災害対策				
		⑬ 虐待の防止のための措置に関する事項				
	【サービスの利用予定者から申し込みがあった場合の契約内容等の説明】	⑭ 設置者が過去に事業停止命令又は施設閉鎖命令を受けたか否かの別（受けたことがある場合には、その命令の内容を含む。）	☐	☐	全く交付していない。	・利用者に配布する資料（利用案内など）
		① 設置者の氏名及び住所又は名称及び所在地	☐	☐	①～⑧の事項について、次のいずれかに該当する。 ・交付内容が不十分 ・交付の仕方が不十分 ・交付する事項が不足	
		② 当該サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項				
		③ 事業所の名称及び所在地				
		④ 事業所の管理者の氏名				
		⑤ 当該利用者に対し提供するサービスの内容				
	【サービスの利用予定者から申し込みがあった場合の契約内容等の説明】	⑥ 保育する乳幼児に関して契約している保険の種類、保険事故及び保険金額	☐	☐	説明が行われていない。	・利用者に配布する資料（利用案内など）
		⑦ <u>（提携している場合は）</u> 提携する医療機関の名称、所在地及び提携内容	☐	☐	説明はされているが、内容が不十分。	
		⑧ 利用者からの苦情を受け付ける担当職員の氏名及び連絡先				
		⑨ 当該サービスを利用するための契約の内容及びその履行に関する事項について、適切に説明を行っていますか。	☐	☐		
	【サービスの利用予定者から申し込みがあった場合の契約内容等の説明】	① 設置者の氏名及び住所又は名称及び所在地	☐	☐		
		② 当該サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項				
		③ 事業所の名称及び所在地				
		④ 事業所の管理者の氏名				
		⑤ 当該利用者に対し提供するサービスの内容				
		⑥ 保育する乳幼児に関して契約している保険の種類、保険事故及び保険金額				

【チェックシート】居宅訪問型保育事業者立入調査に係る自主点検表
(個人用(複数の保育に従事する者を雇用していないもの))

事業所名： _____ 作成者名： _____ 電話番号： _____

指導基準	調査事項	調査内容	調査時に確認する内容	
34 非常災害を股ける場合の条件に上る措置／	【防災上の必要な措置の実施】	火災、地震等の災害発生時における対処方法等（避難経路や消火用具等の場所の確認等を含む。）の防災上の必要な措置が講じられていますか。	地震、火災等の災害発生時における対処方法等（避難経路や消火用具等の場所の確認等を含む。）について検討し、実施した取組みを下記欄に記入してください。	
5 保育内容	【保育の内容】 保育所保育指針を参考に適切な保育の実施が必要です。	保育所保育指針を参考に適切な保育を行っていますか。 ①乳幼児一人一人の心身の発達や発達の状況を把握し、保育を行っていますか。 ②乳幼児が安全で清潔な環境の中で、遊び、運動、睡眠等をバランスよく組み合わせられた健康的な生活リズムが保たれるように、十分に配慮していますか。 ③乳幼児の生活リズムに沿った保育を実施していますか。 ④乳幼児に対し漫然とテレビを見せ続けるなど、乳幼児への関わりが少ない「放散的」な保育になっていませんか。	以下の事項に配慮した保育を実施するための取組みを、下記欄に記入してください。 ①子どもの発達の特徴や発達過程に関する事項 ②乳幼児の養護的な関わり（授乳、離乳食・食事の介護、睡眠・休息、排泄、入浴、清潔、だっこ等）に関する事項 ③子どもの遊び等に関する事項 ④保育の実施に関して留意すべき事項	
	【保育に従事する者の保育姿勢等】 1 保育に従事する者の人間性と専門性の向上	乳幼児の最善の利益を考慮し、保育サービスを提供する者としての姿勢は、適切ですか。		実施している保育に当たっての基本姿勢（子どもへの愛情豊かな関わり、人格の尊重、プライバシーへの配慮等）の理解・向上のための取組みを下記欄に記入してください。
		保育所保育指針を理解する機会（研修）を設けるなど、保育に従事する者の人間性と専門性の向上を図るよう努めていますか。 〔 研修については、保育に従事する前（採用時）に実施することが望ましい。また、保育従事者の質の向上のため、定期的な研修の実施が望ましい。〕	受講した研修を下記欄に記入してください。 また、研修の受講歴がわかる資料（修了証の写し等）を添付してください。	研修名等： 受講日： 年 月 日 研修名等： 受講日： 年 月 日 研修名等： 受講日： 年 月 日
2 乳幼児の人権に対する十分な配慮	乳幼児に身体的苦痛を与えることや、人格を辱めることがないなど、乳幼児の人権に十分配慮していますか。		実施している乳幼児の人権に配慮する取組み、不適切保育・虐待を防止するための取組みを下記欄に記入してください。	

6 給食	【衛生管理の状況】 食器等の適切な衛生管理 <u>※食事の提供を行う場合のみ</u>	食器類やふきん、哺乳ビン等を使用する際は、衛生面等必要な注意を払い、配膳も衛生的に行っていますか。	実施している衛生面等の注意のための取組みを下記欄に記入してください。
	【食事内容等の状況】 <u>※食事の提供を行う場合のみ</u>	乳児にミルクを与えた場合に、ゲップをさせることや離乳食摂取後の乳児について食事後の状況に注意が払われているかなど乳児に対する適切な配慮を行っていますか。	実施している乳幼児に対する配慮を下記欄に記入してください。
		アレルギー疾患等を有する子どもについて、保護者と連携し、医師の判断及び指示に基づき、適切な対応を行っていますか。	実施しているアレルギー疾患等を有する子どもに対する対応を下記欄に記入してください。
7 健康管理・安全確保	【感染症への対応】	手指の衛生や咳エチケットの実施等の感染予防のための対策が行われていますか。	実施している感染予防策を下記欄に記入してください。
	【乳幼児突然死症候群に対する注意】	乳幼児突然死症候群に対する注意として、下記①～③を行っていますか。 ① 睡眠中の乳幼児の顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察しているか。 ② 乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせているか。 ③ 保育中は禁煙を厳守しているか。 ※窒息リスク除去の観点から、医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、乳児の顔が見える仰向けに寝かせることが重要であることから、うつぶせ寝を行う場合は利用時に保護者に確認するなど、乳幼児突然死症候群に対する注意に努めること。	左欄の事項について、実施している取組みを下記欄に記入してください。また、午睡チェック表をご提出ください。
	【安全確保】	以下①～⑥の安全確保に配慮した保育を実施していますか。 ① 施設の設備の安全点検、職員、児童等に対する施設外での活動、取組等を含めた施設での生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他施設における安全に関する事項についての計画（以下「安全計画」という。）を策定し、当該安全計画に従い、児童の安全確保に配慮した保育が実施されているか。 ② 安全計画について理解しているとともに、安全計画に定める訓練を定期的の実施しているか。 ③ 保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知されているか。 ④ 事故防止の観点から、危険な場所等に対して適切な安全管理が図られているか。 ⑤ 不審者の立入防止などの対策や緊急時における児童の安全を確保する体制が整備されているか。 ⑥ 児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を運行するときは、児童の乗車及び降車の際に、点呼その他の児童の所在を確実に把握することができる方法により、児童の所在が確認されているか。 事故発生時に適切な救命処置が可能となるよう、実技講習を定期的に受講していますか。	安全確保のために必要な以下①～⑧の事項についての取組みを下記欄に記入してください。 また、安全計画、安全計画に定める研修及び訓練の実施内容が分かる書類、職員や保護者への周知書類をご提出ください。 ① 安全計画に基づく取組の内容等を踏まえた事故防止、防犯、安全最優先等シッターとしての心構え ② 保育を始める前の玩具、遊具等室内の安全確認 ③ 室内、室外（散歩等の移動経路など）の安全確認 ④ ケガや急病等における応急手当の方法（実践） ⑤ 「ヒヤリ、ハット」時の事故防止意識の再確認等 ⑥ 児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を運行する場合の、児童の乗車及び降車の際の児童の所在の確認方法 ⑦ 事故発生時における対処方法及び連絡体制 ⑧ 事故等発生後における詳細な内容等の報告 研修の受講状況を下記欄に記入してください。 また、研修の受講歴がわかる資料（修了証の写し等）を添付してください。 研修名： 受講履歴： 年 月 日 年 月 日

【チェックシート】居宅訪問型保育事業者書類審査に係る自主点検表（記載要領）
（個人用（複数の保育に従事する者を雇用していないもの））

事業所名： _____ 作成者名： _____ 電話番号： _____

指 導 準 則	調 査 事 項	調 査 内 容	調 査 時 に 確 認 す る 内 容
3 4 非 保 育 災 害 に 対 する 設 け る 場 合 の 措 置 /	【防災上の必要な措置の実施】	火災、地震等の災害発生時における対処方法等（避難経路や消火用具等の場所の確認等を含む。）の防災上の必要な措置が講じられていますか。	地震、火災等の災害発生時における対処方法等（避難経路や消火用具等の場所の確認等を含む。）について検討し、実施した取組みを下記欄に記入してください。
			災害発生時の対処方法について検討し、実施した取組みについて、具体的に記載。 （例）災害発生時に速やかに対処できるよう、保育場所や屋外で活動する際には、活動前に避難経路や消火用具等の場所を確認している。
5 保 育 内 容	【保育の内容】 保育所保育指針を参考に適切な保育の実施が必要です。	保育所保育指針を参考に適切な保育を行っていますか。 ①乳幼児一人一人の心身の発育や発達状況を把握し、保育を行っていますか。 ②乳幼児が安全で清潔な環境の中で、遊び、運動、睡眠等をバランスよく組み合わされた健康的な生活リズムが保たれるように、十分に配慮していますか。 ③乳幼児の生活リズムに沿った保育を実施していますか。 ④乳幼児に対し漫然とテレビを見せ続けるなど、乳幼児への関わりが少ない「放任的」な保育になっていませんか。	以下の事項に配慮した保育を実施するための取組みを、下記欄に記入してください。 ①子どもの発達の特徴や発達過程等に関する事項 ②乳幼児の養護的な関わり（授乳、離乳食・食事の介護、睡眠・休息、排泄、入浴、清潔、だっこ等）に関する事項 ③子どもの遊び等に関する事項 ④保育の実施に関して留意すべき事項
			保育所保育指針を参考に保育を行うための取組みを具体的に記載。 （例）保育を行う際は、事前に保護者から子どもの発達の特徴や発達過程等について、聞き取りを行っている。また、年齢に応じた健康的な生活リズムが保たれるよう、遊び、運動、睡眠などを組み合わせ保育を行っている。遊びでは、保育者と子どもが相互に関わることで遊ぶ遊びを取り入れている。
	【保育に従事する者の保育姿勢等】 1 保育に従事する者の人間性と専門性の向上	乳幼児の最善の利益を考慮し、保育サービスを提供する者としての姿勢は、適切ですか。	実施している保育に当たっての基本姿勢（子どもへの愛情豊かな関わり、人格の尊重、プライバシーへの配慮等）の理解・向上のための取組みを下記欄に記入してください。
			保育に当たっての基本姿勢の理解・向上のための取組みを具体的に記載。 （例）人に対する愛情と信頼感を持ってもらえるよう、子どもに寄り添った保育を心がけている。また保育の質の向上のため、定期的に保育の質の向上に関わる研修を受講している。
	2 乳幼児の人権に対する十分な配慮	保育所保育指針を理解する機会（研修）を設けるなど、保育に従事する者の人間性と専門性の向上を図るよう努めていますか。 〔 研修については、保育に従事する前（採用時）に実施することが望ましい。また、保育従事者の質の向上のため、定期的な研修の実施が望ましい。 〕	受講した研修を下記欄に記入してください。 また、研修の受講歴がわかる資料（修了証の写し等）を添付してください。
			研修名等： ○○研修（○○主催） 受講日： R○ 年 4 月 ○ 日 研修名等： ○○講習（○○主催） 受講日： R○ 年 6 月 ○ 日 研修名等： ○○セミナー（○○主催） 受講日： R○ 年 2 月 ○ 日
2 乳幼児の人権に対する十分な配慮	乳幼児に身体的苦痛を与えることや、人格を辱めることがないなど、乳幼児の人権に十分配慮していますか。	実施している乳幼児の人権に配慮する取組み、不適切保育・虐待を防止するための取組みを下記欄に記入してください。	
		乳幼児の人権に配慮する取組み、不適切保育・虐待を防止するための取組みを具体的に記載。 （例）子どもの人権に関する研修を受講している。また、人権擁護のためのチェックリストを年に1回実施している。	

6 給 食	【衛生管理の状況】 食器等の適切な衛生管理 ※食事の提供を行う場合のみ	食器類やふきん、哺乳ビン等を使用する際は、衛生面等必要な注意を払い、配膳も衛生的に行っていますか。	実施している衛生面等の注意のための取組みを下記欄に記入してください。 食事の提供を行う場合は、衛生面等の注意のための取組みを具体的に記載。 (例) 保育者と子どもが食器類を共有することがないように、食事場所を分ける等の取組みを行っている。
	【食事内容等の状況】 ※食事の提供を行う場合のみ	乳児にミルクを与えた場合に、ゲップをさせることや離乳食摂取後の乳児について食事後の状況に注意が払われているかなど乳児に対する適切な配慮を行っていますか。	実施している乳幼児に対する配慮を下記欄に記入してください。 食事の提供を行う場合は、乳児に対する配慮を具体的に記載。 (例) 乳児に対しては、窒息につながるこないよう、ミルクを与えた後に必ずゲップさせたり、離乳食摂取後は呼吸の状況を確認したりするようにしている。
		アレルギー疾患等を有する子どもについて、保護者と連携し、医師の判断及び指示に基づき、適切な対応を行っていますか。	実施しているアレルギー疾患等を有する子どもに対する対応を下記欄に記入してください。 食事の提供を行う場合は、アレルギー疾患等を有する子どもに対する対応を具体的に記載。 (例) アレルギー疾患等を有するかどうか保護者に必ず確認を行い、医師の判断及び指示に基づく対応を事前に確認している。また、アレルギー疾患に関する研修を受講している。
7 健康 管理・安全 確保	【感染症への対応】	手指の衛生や咳エチケットの実施等の感染予防のための対策が行われていますか。	実施している感染予防策を下記欄に記入してください。 児童と保育者の間での感染を防ぐために実施している感染予防策について具体的に記載。 (例) 手指消毒や手洗い、咳エチケットの徹底をしている。
	【乳幼児突然死症候群に対する注意】	乳幼児突然死症候群に対する注意として、下記①～③を行っていますか。 ① 睡眠中の乳幼児の顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察しているか。 ② 乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせているか。 ③ 保育中は禁煙を厳守しているか。 ※窒息リスク除去の観点から、医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、乳児の顔が見える仰向けに寝かせることが重要であることから、うつぶせ寝を行う場合は利用時に保護者に確認するなど、乳幼児突然死症候群に対する注意に努めること。	左欄の事項について、実施している取組みを下記欄に記入してください。 また、午睡チェック表をご提出ください。 乳幼児突然死症候群防止のための取組みを具体的に記載。 (例) 乳幼児の睡眠中は、乳幼児の顔色や呼吸の状態を観察するためにチェックシートを作成し、5～10分おきのチェックを行っている。また、医学上の理由からうつぶせ寝を推奨されている場合を除き、必ず仰向けに寝かせるようにしており、保育者は禁煙を厳守している。

【安全確保】	以下①～⑥の安全確保に配慮した保育を実施していますか。 ① 施設の設備の安全点検、職員、児童等に対する施設外での活動、取組等を含めた施設での生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他施設における安全に関する事項についての計画（以下「安全計画」という。）を策定し、当該安全計画に従い、児童の安全確保に配慮した保育が実施されているか。 ② 安全計画について理解しているとともに、安全計画に定める訓練を定期的の実施しているか。 ③ 保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知されているか。 ④ 事故防止の観点から、危険な場所等に対して適切な安全管理が図られているか。 ⑤ 不審者の立入防止などの対策や緊急時における児童の安全を確保する体制が整備されているか。 ⑥ 児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を使用するときは、児童の乗車及び降車の際に、点呼その他の児童の所在を確実に把握することができる方法により、児童の所在が確認されているか。	安全確保のために必要な以下①～⑧の事項についての取組みを下記欄に記入してください。 また、安全計画、安全計画に定める研修及び訓練の実施内容が分かる書類、職員や保護者への周知書類をご提出ください。 ① 安全計画に基づく取組の内容等を踏まえた事故防止、防犯、安全最優先等シッターとしての心構え ② 保育を始める前の玩具、遊具等室内の安全確認 ③ 室内、室外（散歩等の移動経路など）の安全確認 ④ ケガや急病等における応急手当の方法（実践） ⑤ 「ヒヤリ、ハット」時の事故防止意識の再確認等 ⑥ 児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を運行する場合の、児童の乗車及び降車の際の児童の所在の確認方法 ⑦ 事故発生時における対処方法及び連絡体制 ⑧ 事故等発生後における詳細な内容等の報告
	事故発生時に適切な救命処置が可能となるよう、実技講習を定期的に受講していますか。	安全確保に配慮した保育を実施するための取組みについて、具体的に記載。 （例） ①子どもの安全確保のため、安全計画を作成している。また、子どもの事故防止のための研修を受講している。万が一事故があった場合に備え、緊急時マニュアルを作成している。 ②保育を始める前には、玩具や遊具等について、危険なものや箇所がないか、十分に確認している。 ③散歩など、屋外で保育を行う場合の移動経路については、危ない経路は避けるようにしている。 ④ケガや急病等に対応できるよう、医薬品等を準備している。また、保育を行う場所の近くの医療機関を事前に確認している。 ⑤ヒヤリ・ハット事例があった場合は、記録し、事故防止に活かすようにしている。 ⑥移動の際に自動車を利用する場合は、出発時、到着時に、必ず所在確認を行っている。 ⑦事故発生マニュアルを作成しており、事故発生時はすぐに保護者へ連絡し、応急手当、必要に応じて医療機関の受診等行うことにしている。 ⑧再発防止のため、事故の内容について検証を行っている。また、重篤な事故が発生した場合は、保健福祉環境事務所又は県子育て支援課に報告をするようにしている。 研修の受講状況を下記欄に記入してください。 また、研修の受講歴がわかる資料（修了証の写し等）を添付してください。
		研修名： ○○救命講習（主催） 受講履歴： R○ 年 5 月 ○ 日 R○ 年 1 月 ○ 日